

文教厚生常任委員会記録

令和6年1月15日（月）

場所：鳥栖市議会 第3委員会室

令和6年1月15日 日程

日次	月日	摘要
第1日	1月15日(月)	<p>案 件</p> <p>所管事務調査の今後の重点テーマについて</p> <p>議会報告会で意見のあった項目の絞り込みについて</p> <p style="text-align: right;">〔協議〕</p>

1 出席委員氏名

委員長 樋口伸一郎

副委員長 成富牧男

委員 中川原豊志

委員 西依義規

委員 田村弘子

委員 緒方俊之

委員 牧瀬昭子

2 欠席委員氏名

なし

3 出席した議会事務局職員の職氏名

議事調査係主査 松雪望

4 日程

所管事務調査の今後の重点テーマについて

議会報告会で意見のあった項目の絞り込みについて

[協議]

5 傍聴者

なし

6 その他

なし



午前10時8分開会

樋口伸一郎委員長

再開します。

そうしたら、前回からの学童と運動広場に、今回から新たに条例等を含むスポーツ関係、それと学校施設のほうで新たに御意見として出てますが、これを整理して、できれば2つ、3つぐらいに絞り込んで……、できれば2つ。

1つでもいいんですけど、これがあまりにも多くなると散らかってしまい過ぎるので、学校関係は学校関係として、学童も含め、施設も含めて1つのものにしてしまうと。

スポーツなら、運動広場であったり、それを促進するような条例であったりというような考え方は皆さん方の御意見をこれから募りたいと思います。

最終的にはこのテーマとこのテーマと、2つ、3つぐらいに絞り込んで、それを機会を通じて協議しながら、最終的には一つの答えを委員会としての総意で執行部に要望するのか、どこかのタイミングで委員会としての決議みたいな議会手続のほうに持っていくのか、その辺りの方針とか目標までが今日ある程度見えればいいかなと思います。

まずは、今日は絞り込みのところをしたいと思います。

前回の定例会から御意見等を出された委員さんもおられますので、改めてこれとこれはぜひっていうのを伺いできればと思いますので、挙手の上で御発言をお願いいたします。

西依義規委員

私、前回このメンバーじゃないんで、まず確認したいのは、前回の重点テーマであった運動広場の件と待機児童の件がどういうふうに着いて終わりを見たのかをまず御説明いただきたいなど。

例えば、具体的な提案をしたのか、それとも調査して執行部の考えを確認したのか。

どういう終わり方をしたのかだけ、まずお願いします。

樋口伸一郎委員長

私も前回から委員としてはいたので、記憶の中ですが、まず運動広場については、委員会として必要だっという意見の一致を見たところなんですが、これをある一定の形にして執行部のほうに伝えてとか、何らかの形にして執行部とのやり取りを行ったというところまでは行ってないというふう記憶しています。

委員会の中で、グラウンドは必要だよねっていうまとまりを見たところまでなので、その後の対外的なところの兼ね合いについては、ないというふうに記憶しています。

あともう一点、学童……（「ちょっと休憩して」と呼ぶ者あり）

暫時休憩します。

午前10時12分休憩



午前10時13分開会

樋口伸一郎委員長

再開します。

今お答えの途中で最後に言おうと思ってたんですけど、もう一つの学童保育に関しても何らかの対応とか、見る人たちのこと、何て言いますっけ。（「指導員」と呼ぶ者あり）

指導員の補充とか処遇改善とかそういう対応をしてほしいという委員会の統一の意見もあったんですね。

ただ、それが先ほども言いましたとおり、対外的にアプローチをしてるわけじゃないので、あくまでも委員会として出て合意形成が図られたところに関しては、委員会としてはここまでの合意を見ましたっていう書面を議長のほうに送っているというところで、今はその書面が表れてないというところなので、休憩中にも協議がありましたけど、本日のタブレットのほうに載せて、今回からの方にはその経緯が分かるような状態にしたいというふうに考えてます。

西依義規委員

グラウンドについては、調査・研究して今回の1年間か2年間でどこまでやるのかを、まず確認したほうがいいかなと思うんですよ。

4年ぐらいされてると思うんで、同じことになるとう時間的な制限があるんで。

学童についても、指導員について、この間の委員会で豊増室長がもう全てやり切ったとおっしゃってましたけど、我々の中でこういった具体的な手法があるんだぞっていうのは提案していったほうがいいかなと思うんで。

もちろん引き続きのテーマをしてもいいんでしょうけど、グラウンドの落としどころが見えにくいなという気はちょっとしてます。

それと、学校施設とスポーツ推進の条例については、何となくイメージがあって、学校施設は

市内に8小学校と4中学校あるんで、12校全て回って、どこが足りなくてどこが課題でというのを調べればいいと思うんですよ。

調べて、我々の中でこれはあんまりというのを最終的に教育委員会等、市長部局にお知らせすればいいんで、その調査をする段階のイメージは分かるんですけど、グラウンドを調査するとかがなかなか難しいような気がしてます。

あと1年、2年でグラウンドをどうやっていこうというイメージがもしあれば、皆さん方がどう思ってるのかお聞きたいしたいと思います。

樋口伸一郎委員長

ちなみにスポーツに関してのイメージって……

西依義規委員

スポーツに関してはスポーツ都市宣言とか——向門市長もスポーツ都市を一生懸命言われてるんで、鳥栖市はスポーツが盛んなまちだということを市民が誇りを持てるような形で、条例なり推進計画なりをつくっていく方向を執行部に求めるなり我々自身が条例をつくるなりしたほうが。

前回の若楠国体が昭和51年で、今回の国スポが令和6年で、40年近くに1回しかないんで、国スポがあった年っていうこのタイミングでスポーツ都市宣言を見直すなり条例をつくるなり研究したほうがタイミング的には一番いいのかなと。

それに付随して、鳥栖市はスポーツ施設の充実を図らなければならないという文書がもし条例であれば、じゃあグラウンドないやんかというふうなロジックがいいんじゃないかという気はしてます。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

ほかに御意見があれば。

ひもづきそうなところもあるんで、忌憚のない御意見をお伺いしたいです。

牧瀬昭子委員

所管事務調査なので、令和6年度までの事業計画の見直しというところをできないかなと。

第2期子ども・子育て支援事業計画というのが令和6年度までになってますので、これについてやることによって、放課後児童クラブの問題や学校の問題なども調査・研究の対象にして網羅して横につなげていってはどうかと今聞いてて思いました。

あと、インクルーシブ条例が出来てからもう5年ぐらいたってしまして、これの検証をするのはどこなのかというところが一つ残っているかなと思いますので、これについても検証が必要かなというのを提起させていただきたいと思います。

以上です。

樋口伸一郎委員長

ほかにありませんか。

成富牧男委員

牧瀬議員が、子ども・子育て支援事業計画に関して言われましたけど……、委員長も言われたかな。

学童保育と学校教育って、関連はあるけど、分けたほうがいいんじゃないかと私は思います。

というのが、うちの場合も生涯学習課がやってるし、本来別物で、支援事業計画の中には学校教育の云々とかいうのは入ってないんじゃないかと思えます。確認してもらっていいけど、そこは分けたほうがいいんじゃないかなと思えます。

支援事業計画の中に入っているのは、保育所とかですよ。

変な言い方やけど、学童は支援事業計画のその他ぐらいのボリュームなんですよ。

だから、少なくとも学校教育とはごっちゃにしない方がいいのかなと私は思いました。

樋口伸一郎委員長

ほかにありませんか。

中川原豊志委員

学童について言うならば、ここ2年間ぐらいは施設不足というのがあって、なかよし会のクラスを増設、新設してきて令和6年度からは箱物的にはある程度の整備はされた状況にあるけれども、昨年9月の補正で支援員さんを募集するという形で進めていった中で1人ぐらいしか増えてなかったという状況で、今までいろんな手を打ってやってきてるんだけど、なかなか支援員さんが増えてこない。ここについては我々も担当課に任せるだけじゃなくて、ほかにどういうことができるか共に協議をしていく場が必要かなと。

せっかく予算つけとるけん、他に手はないのか、探さんかい、探さんかい、ばっかりじゃいけんと思っただけ。

だから、共にそこを増やしていくためにお金だけで進むものなのか、ほかに何か手があるのか。

学童の支援員さんだけでなく、保育士さんにしてもしかり、また介護施設等の職員さん等についても収入とか職務とかの内容で不足している。

そういったところについても、我々の担当所管であるんで、そのところの職員さん等の補充、拡充というのも共になって考えていってあげないと、どうにかしろ、どうにかしろだけじゃいかんかなというふうに思うんで、そういったところは所管事務調査の中に入れていただければなど。

保育士さんが不足しているからこそ子供さんを受け入れられない、入所待ち児童等が増えてきたりしている状況もあるんで、その辺を共に考えていくべきじゃないのかなと思えます。

それと学校施設については、中学生スピーチ等にもあったように、学校施設の雨漏りとかドアがガタガタするとかいう話があったんで、どこから雨漏りがしているのかがなかなか判明できないから難しいんですよっていうのをそのままにしておいていいのかっていう問題もあると思うんで。

大規模改造の時期までまだ年数があるんでなかなか手をつけられないというのであれば、何らかの調べる方法を設けて、その辺の改修はすべきかなと思うんで、そういった意味で学校施設の環境整備というのを入れたらどうかと思うっております。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

ほかにないですか。

成富牧男委員

牧瀬議員が言われた、子ども・子育ての計画は必要だと思います。

逆に言うたら、その中に保育も入ってるから。

私が言ったのは、学校教育とごっちゃになったらいかんということです。

牧瀬昭子委員

間違えましたので訂正をさせていただきます。

学校施設に関しては、鳥栖市教育プランの中に入っているということで……、大変失礼しました。訂正しておわびします。

樋口伸一郎委員長

御丁寧にありがとうございます。

ほかにあれば。

西依義規委員

任期が多分2年あるんで、1年間で短期的にだだっとするのと、2年間しっかりやって調査結果を出すのと分ければ、今出てるテーマぐらいはいけそうな気がしますんで、別に削らんで、例えば学校をだだっ回って、これはおかしいというので終わらせるとか。

牧瀬議員がおっしゃった支援計画は、今の課題とかを一緒に考えましょうというスタンスで、1課ずつ呼んでしっかり時間を取って、その中に放課後児童クラブも入れて、前回からもうちょっと膨らませて子ども・子育てっていうテーマでいったらどうかかと。

そうしたら保育園もあるし、ファミリー・サポートとかで子育てしやすい鳥栖市っていうところで、その中の1つが学童であったりすると思うんで、この計画を見ながら全体調査をして、今日は担当課を2つ呼んで、次は2つとかしながら調査していくと本当の課題が出てくるんじゃないかっていう気はちょっとしてます。

樋口伸一郎委員長

今までの御意見を聞く感じ、学校教育であったり保育環境であったりの分は、今西依委員からもあったように、今までは学校教育だけでしたけど、御意見が出たとおり、子ども・子育てっていうところまで拡大をすれば、ある程度1個に絞られるかなど。

子ども・子育て関連における環境改善、環境整備であったり、環境整備はうちがすることじゃないですけど、環境改善に対することとかで、そういうふうにまとめられるのかなっていうのが感想としてあったわけですが、併せてスポーツのほうに関しての御意見も頂ければまとまるかなと思うんですけど。

前回からの引継ぎではないですけど、委員会としては運動広場だったわけですね。

これが今回はスポーツ都市宣言あるいは2024国スポですね。

今機運としては、機会が来てるわけですよ。

だからそれに合わせた条例制定まで行くとかなり具体的になりますけど、条例の考え方であったり、あるいはそれに伴うもの。

条例に伴うものっていったら、条例をつくることに拍車がかかるようなところまででもいいと思うんですよ。

なので、運動広場関係についても御意見を。

中川原豊志委員

さっき西依議員も言ったんやけど、スポーツ都市宣言は平成3年ぐらいよね。

俺、中身全部知らんたい。

そのスポーツ宣言の内容を1回みんなで確認してみて、それが今の時代とどう違うのか。30年前につくった内容だと思うんで、それを改善することができるのであれば、担当課に提案してもいいのかなと思ったんですけど。

樋口伸一郎委員長

貴重な御意見ありがとうございます。

ほかに何か、そういう本当に忌憚のない御意見でいいと思いますが。

西依義規委員

これもさっき学童から子ども・子育てに広げたのと一緒で、野球というか多目的グラウンドに集中した審議をしてきたけど、例えばバスケット人口が増えてきたりとか、スポーツって今いろんな広がりがあるって、スケボーとかもスポーツとしてはあるわけやけん、邪魔にならんところでもらえばいいだけやけん。

スポーツを楽しむ環境づくりっていう意味で1つのテーマにすれば——もちろん最後は条例とか推進計画とか都市宣言とか。

我々が施設整備とかを調査した結果、どこに落とすかを探りながら調査できるんじゃないかなと思いつつながら。

国はスポーツ推進計画は努力義務で、佐賀市にはスポーツ推進計画があるんですけど、鳥栖市はないんですよ。

そういうのを含めて、国の法律からもしっかり考えながら、鳥栖市がどういったスポーツがやりやすい環境かとか、そういうふうなのを研究していくのは、今聞きながらいいのかなと思いつつしました。

成富牧男委員

私も同じ意見です。

行政のやり方としては、宣言を出したら、それによって立つ推進計画とか条例とかそういうのが当然必要だから、先ほどのそういうロジックをつくればっていうのに全く賛成です。

今回の絞り込まないでされるやり方にも賛成ですけど、鳥栖市の場合は、スポーツがあつて、文化芸術がこんな感じでちょっと低くて。

だから本来は、文化芸術についてもマスタープラン的なやつを今後求めていっていいんだろうなというふうに思いつつします。

樋口伸一郎委員長

文化についての御意見も出ましたね。

タイミングとか機会でいうと、2024国スポとかに合わせやすいというのがあつて、今温度差になってきてるんでしょうけど、ただスポーツ文化部ですから、委員会としては協議できますね。

ほかに何かスポーツに関しての御意見があれば。

これも今の時間では御意見がないので、発言させてもらいますと、言われましたとおり、協議をしてきて、必要だという一定の合意を見て議長に返してるんですが、もう少し広く協議ができるように都市宣言の文面の内容であつたり、あるいは、条例に基づくことで条例を制定するに当たってはどのようにやっていくかとか協議を行つたり、そういうふうに拡大をすることによって、ひいては運動広場をピンポイントにすることについても促進することにつながるんじゃないかという意見があつたので、これもスポーツ環境全般ということで、そこにおける改善につながるようなことをしていくっていうのを1つテーマとして上げればまとまるんじゃないかと思いつつします。

あまり広がり過ぎてまとめきれなくなるという懸念もありますが、今のぐらいの範囲だと、都市宣言の中身とかを研究するのはやりやすいかなと思いつつします。

御提案としては、スポーツ環境の改善・整備に関することをテーマとして上げるのはいかがか

などと思いますが、どうですか。

まずテーマとしての2つの分です。

内容はともかく、協議をしていくとかテーマとして上げるところ。

それとほかの御意見として、文化についても、今回じゃなくて、機会を通じてその他の中での何かあれば。

サンメッセ鳥栖とかでもいろいろやっていくでしょうから、やらないじゃなくて、重点テーマとしてはこの2つを置いて、早く答えが出れば期間はありますんで、予備候補としては文化もこの委員会にありますということです。

どうですか、テーマとしては。（「いいんじゃないですか」と呼ぶ者あり）

いいですか、テーマの文面とかについては正副に任せてもらって、お示しできるような形になったらたき台としてお示しをさせていただきますので。

文言や単語を変えたほうがいいんじゃないとかいう御意見はまた頂いて帰るという形で。

西依義規委員

今まとまろうとしてますんで、最初の学校教育も子ども・子育てに入れてしまうのか、学校教育は学校教育で教育委員会を中心に議論をして、子ども・子育てはこども育成課とかですのか、それとも、子ども・子育てとしてその中の1つの施設整備のやつでまとめてするのかっていうのは皆さんどうですか。

インクルーシブとか先生たちと学童はさっき分けたほうがいいという……、何となく違うような気がするんですが、その辺はやっぱり一緒がいいですか、どうですか。

樋口伸一郎委員長

御提案させてもらうなら、もともと別々のイメージで認識をしてしまっていたんですけども、皆さん方の御意見があれば、ぜひその辺りもお伺いしたいと思います。

成富牧男委員

私はごっちゃにならん方がいいだろうという立場で、分けた方がいいだろうと。

半煮えの状態で終わりそうな感じがする。

樋口伸一郎委員長

子育てに飛んだり教育に飛んだりする可能性はあるんで、整理はしやすいかなというのが個人的見解ですけど、皆さん御意見を。

成富牧男委員

その具体的なやつとして、学童のほうについて言うと、もう大体やり尽くしてますみたいなことを言ってるやん。

それを、さっき言われたように、本当にやり尽くしたのか全部組上に上げて潰すだけでも、補

助メニューの中でまだ残ってるちょっと面倒なやつを——面倒だからって私が勝手に思ってるんだけど、そういうこともあってやってないんじゃないかと思われる部分もあるので、やってるならやってるで、そうですか、ならほかについていうことをやっていいんで、そういうのもできるかなと思っております。

樋口伸一郎委員長

ほかに御意見どうですか。

牧瀬昭子委員

すいません、私が混乱を来すような言い方をしてしまったなと思ひまして。

第2期子ども・子育て支援計画が、学童関係とか先ほどの入所待ちの保育関係とか病後児保育とかそういうのも入ってたりするんで。

あと、学校施設に関しては教育プラン。

インクルーシブ教育に関してもこの教育プランの中に入っているんで、この2つかなという感じで。

言い間違えた部分もあるので訂正します。

これでやったらどうかなということで意見させていただきます。

中川原豊志委員

子ども・子育てっていう中に、子ども・子育ての分と学校の分とあるという考え方で大きく1つでいいかなという気がします。

樋口伸一郎委員長

今の御意見を整理すると、子ども・子育ての中において、例えばそれが一つのテーマとしたら、1の(1)とかにして教育と保育と分けることによって別々に協議ができるということかなと思ひますけど。

(1)、(2)に分けると、教育においては鳥栖市教育プランが当てはまる、保育に関しては子ども・子育て支援事業計画が当てはまるという流れになるんで、そういう意味でしたよね。

でも、テーマとしては子ども・子育ての中に含まれていると。それである程度まとまるんじゃないかなと思ひます。

西依義規委員

最終的には市民の皆様がこの委員会がどういうテーマを今やってるのか、箇条書きみたいにしてホームページに出したほうがいいと思うんですよ。

出すときのウエートの的にスポーツは単体でいいと思うんですけど、子ども・子育てというテーマとスポーツというテーマを2つ出すっていうイメージで今おっしゃってるということでもいいですか。

そうすると、こっちは重過ぎる気がするんですよね。

スポーツという1のウエートが、3つ分ぐらい重さがあるので、それならもうスポーツはここに入らんかもしれないですけど、子ども・子育てだったら、例えばもう誰も取り残さない……、何かそういう大きなテーマを掲げて、委員会ですて、その中の派生をまたしていくほうがいい……、どうかな皆さん。

ホームページに上がったときのテーマが5つだったら5つが……、要は並列がいいと思うんですよ。3つあったら3つが並列と。

今は、ウエートが2対1ぐらいになっとるけん、どうかなって。

樋口伸一郎委員長

そこについては、私から。

発言を許してもらっていいですか。

スポーツは飛んじゃうかなと思ったんで学校の方をしてたんですけど、スポーツにおける具体的文言は今まだイメージしてないですけど、要は、1番で条例とか計画とかソフトを、2番で運動広場であったり何が足りないかという建設的なものでハードっていうのを分ければ、1と2は2つずつに派生できるのかなと。

ただそれが、西依委員が言われたようにあまり散らかり過ぎる、ということと表現が悪いんですけど、これもあれも協議しないとイケないとなると——2年もあるっていう感覚でしょうけど、あつという間ですよ。

答えが漠然とするまま終わっちゃうということも十分に考えられるので、少ないにこしたことはないかなというのがあります。1つに完全に絞り込んで一緒くたにやってしまうと。

委員会として最終的に残すのが、議長にこういう答えになりましたなのか、要望なのか決議なのかいろんなパターンに結びついていきますけど、少ないほうがまとまりとしては、かちつとなるかなと思います。

錯乱すればするほど、あれはどうする、これはどうするってなるので、その辺りは御意見からまとめたいと思います。

名前はまだ不明確として、今のところは子育てに2つ派生する、スポーツ環境に2つ派生するっていう。

西依委員から条例が拍車になるんじゃないかっていう意見もありましたが、皆さんどうですか。

中川原豊志委員

スポーツというと、いろんなスポーツがあるので、今のところスポーツ施設とかその方向に向けてそうだけれども、例えば高齢者の健康増進のためのふまねっと運動とかああいうのもスポーツだと思うわけ。

だから、そういう高齢者や障害者でもできるようなスポーツ環境の整備というのももちろん出てくるだろうし、去年視察で行ったところ、どこやったか忘れたばってんが、何人が集まって毎朝ラジオ体操するっていうふうなところがあったよね。

何回かやれば缶バッチをやるとか、そういうふうに身近に誰でもができるようなスポーツになれるようなことも考えていくべきかなとも思うんで、単純に子ども・子育てとスポーツというスポーツが狭くなるっていうだけではないかなとは思いますが。

ですから、その2つで大きく分けて、またいろいろ検討してもいいのかなと。

田村弘子委員

スポーツの環境というと、子ども・子育ての中の、部活動の地域移行も今すごく精査が必要になってきているので、西依議員が言われたように、大枠があってその中から子ども・子育てとスポーツのところに地域移行も重なってくるのであれば、大枠1つで小さく分けていって、それぞれに重なり合いながら調査していくことができるのではないかなと。

部活動の地域移行というのは、スピード感を持って進めていかないといけないんだろうけれども、問題が山積しているというところで、スポーツと学校教育の現場とがうまく組合せができていないっていうところも、お話を聞きながら感じてたりするので、そこを委員会としても他市町の事例などを参考に、鳥栖市に合ったものを模索していきませんかと提案していくのは、鳥栖市の今からスポーツを続けていこうとする子供たちへのいい一歩になるのではないかなと思ってたりします。

樋口伸一郎委員長

ということですが、これに対しては。

成富牧男委員

全くそうだと思います。

なるべく絞った形にしておいて、ここだけじゃありませんよ、学校教育の中にも関連があるんですよ、みたいなことは審査を始める際のスタートラインでみんな認識しておくことは大事かなと。

樋口伸一郎委員長

田村委員の御意見の学校部活の件に関して入れるのであれば、カテゴリーとしてはスポーツのほうで協議するようなイメージですよ。

ほかに御意見はありますか。

牧瀬昭子委員

先ほど中川原議員から御提案のあった、高齢者の方とか障害者の方が自分で健康づくりをしていくっていうのが、うららトス21プラン（健康増進計画）の中にあるのに当たるのかなと思うん

ですけど、ここの整合性というか、何か関連づけながらスポーツと健康づくりっていうところを合わせていくと、所管もしてますし、項目として何かできるかなと思ったりするんですけど。

樋口伸一郎委員長

ちょっと時間も時間ですので。

今日のまとめとしては、まずテーマを絞るということでしたので、まず1つは、大枠になりますけど、さっき言いました子ども・子育てに関するテーマというのと、スポーツ環境に関する整備であったり改善に関するすることを2つ目のテーマに——順不同ですけどね。

まだ大きくて見えにくいですけど2つはそのテーマでよろしいですか。

正副でテーマの名目は考えたいと思いますが、そこはよろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、テーマは前回からの分も含めて御意見を出してもらった結果、申しあげました2つでいきたいと思います。

その中で、子ども・子育てに関しては、放課後児童クラブの件であったり指導員の件もありますので、それを教育の観点から1つ。

あとは入所待ち児童とか保育士不足とかいろんな問題がありますので、ここを保育の観点からとか。

協議のやり方については、執行部と一緒に呼ぶとか、部ごとに分けるとかそこはまた後日考えていきますので、この辺りを協議していけたらと思います。

スポーツに関しては、部活動の地域移行であったり高齢者の件もありましたが、この分はソフトに入るのかなと考えますので、その分を1つの観点として協議をしていくと。

あとは、前回からの課題としては、グラウンドの不足とか施設の現在の状況とかありますので、こちらのほうはハードのほうでやっていくと。

戻りますけど、学校に関しては学校施設の分もありましたんで、その辺りも協議ができればと思います。

今日は2つのテーマに絞らせていただくということで御認識をお願いしたいと思います。

それで、このテーマに関しては最後になりますけど、正副と事務局で執行部との調整を——必要に応じて対応してもらうように部長方にもお願いをしますので、そこに至るまでの最初の手順ですが、具体的な御意見が幾つか出たので、それをまとめさせていただくと、まず学校施設については、現場と一緒に来てもらうのは必要ですけど、執行部を入れずに実際に自分たちの目で見て回るっていうのがありました。

実際どうなってるのかは見るのが一番分かりやすい、まとめやすいついていうのがありました。

それとスポーツに関しては、まず現在のスポーツ都市宣言の内容の把握というか、それが今に

見合ってるのか、今後どのような改善が必要であるかっていう協議とかができるのかなというのが意見としてあったので、このあたりから進めていくのはどうかと思ってますが、こちらに関して皆さんの御意見があれば。

あるいは、こういうのから進めてほしいとか、新たな御意見を頂きたいです。

テーマは決まりましたんで、進め方を、まずどこから一歩目を行くかっていうところです。

中川原豊志委員

今委員長が言われた形で進めていっていいのかなというふうに思います。

1つだけ状況確認を適時したいのが、サガン鳥栖U-15の練習場は今どういうふうになっているのか。それによって今後の都市公園がどう変わっていくのか。

市民プールも含めてどういうふうを考えていくのかというのも適時タイムリーな情報が必要かなというふうに思ってますんで、そこを聞けるようにしていただければと思います。

成富牧男委員

前の所属からいうと西依委員のほうが詳しいかもしれんけど、3月いっぱいには計画をつくらと言ってたよね。都市公園整備計画かな。

スケジュールの中で頭に入れておかないかんよね。

令和6年6月議会に担当委員会の建設経済常任委員会に報告するなら、うちとして尻を叩くならば、3月までに計画はつくらないかんやろう、そうしたらプールの問題とかどうするのっていうこともそれまでに言わないかんというのが出てくる。

これは都市計画課のほうで聞き取った内容です。

樋口伸一郎委員長

ほかにありませんか。

西依義規委員

私も中川原委員がおっしゃったような形で行きながら、今日の当たりにしたことはやっぱりしたほうがいいんで、一発目は都市公園を重点的にしたほうがいいような気がしています。

樋口伸一郎委員長

スポーツ宣言の確認だったりプールであったりU-15の御意見って、確かに……、その市民公園の現地視察を研究してみましようか。

どうですか。（「建設経済になるでしょう」と呼ぶ者あり）

いや、市民公園って場所の名前を言ってるだけで、やるのは都市宣言の看板とかありましたよね、あれとか、プールは見るだけですけど、U-15のあれとか。

あるいは、行くじゃなくて聞くとかでもいいんですよ。

どうなってるか執行部に聞くとか、そこら辺はどうですか。

今全部が市民公園のくくりに入ったので、やり方としては見てみるのか……、都市宣言は見れるかなと思ったんですけど、プールとかU-15になると聞かんと分からんけん。

どうですか。

その辺りから、どのように方向性を持って協議していくのかをつくらないかん。

西依義規委員

であれば、まずスポーツ都市宣言の文面を研究する中で担当課にどういう理念で進めているのかを意見交換をして、スポーツ施設はどうだ、障害者・健康増進はどうだ、プロスポーツに関してはどうだとかいうのを1回するところから始めたほうがよさそう。

いや違います、私たちの理念はこうですよ、と言われたらもうおしまいやけん、まず担当課がスポーツをどう増進していこうとされているのかから、その中でU-15の意見交換をしたらどうですか。

樋口伸一郎委員長

この御意見に対する御意見はないですか。

成富牧男委員

異議はありませんが、併せて身近なものとしては、第7次総合計画の中でその部分をどういふふうに表示されてるのかというのもあったらいいかなと思います。

樋口伸一郎委員長

その辺りもありますので、現状確認を含む執行部との意見交換を行うことでいろんな御質問が出るでしょうから、その辺りからまたさらに絞って、どこをどう進めていくのかをどんどん絞り込んでいかんと、どんどん拡散していくことになっちゃうと思うんですよ。

なので、逆に絞り込んでいくための現状確認の意見交換で執行部に調整してみましようか。

牧瀬昭子委員

樋口委員長のおっしゃるとおり、拡散していってしまう可能性が大変強いなと思ったので、最終的に2年間なり1年間なりでどこまでいくのかの目標設定をまずお尻からして行って、ここが今ここであるなっていうのをしていかないと分散していくんじゃないかなと思いましたので、スケジュール感をまずは皆さんで共有したほうがいいかなと思うんですけど。

先ほどおっしゃったみたいに、まず現状認識をする、最後は条例なり宣言に対する意見を言うなり計画を立てるなりどこに向かっていくかを大まかに考えるだけでもスケジュール感が変わると思うので、そこはしたほうがいいかなと思いました。

西依義規委員

私はこの間まで建設経済の常任委員でしたけど、最終的には政策提案型がいいのかなという気がしています。

我々は言いつばなしがいいところであって、財源とかは向こうが決めるとしたら、やっぱり提案しない限りは——一年間しっかりして委員会で意見の一致を見るところに注力したほうがいいんで、必ず何か政策を提案すると。

子ども・子育てでも意見の一致を見るところと見らんとところとあると思うんで、それを目標にしたほうがいいかなっていう気はしてます。

執行部に何らかのものを投げるっていうところをまずは目標にしたほうがいいかなという気はしてます。

樋口伸一郎委員長

政策提案まで行けば望ましいですけど、そこに至らずとも執行部に対して委員会の考え方であったり、意見、要望とかそういう形でもいいんですよ。

何らかの一つの形に持っていくのは難しいですけど、対応型に拡散し過ぎないほうが、拡散し過ぎることによって一つの形にまとまりにくくなるので、その辺りは皆さん方の知恵とか意見を借りながらまとめていくという作業、そして最後は委員会として一つの提案とかまでいけたらというふうに考えてます。

御意見はいっぱい出してもらっていいんですけど、中には妥協しないとまとまらないというものも出てくるかもしれないですね。

例えば極端に言うと、100個あるうち100個まとめるのが無理なので今回は2つだけに絞ろうとか。

その辺りは今後の協議のやり方であったり、まとめ方にもなると思うんで、意見としてはいっぱい出していただきたいってところです。

西依義規委員

議会改革検討会でフォームをつくったんですよ。

意見の一致を見た、見てない、見たことだけ書くように、最終的に我々の運動は市民の皆様を知ってもらわないと意味がないので、議場なりで委員長が報告して市長も聞きながら。

こっそり執行部に渡してもいいんですけど、我々は議場でしか勝負できないので、我々が意見の一致を見たところを報告するなり、もちろん決議にいけばいいんでしょうけど、報告もあそこでしっかりするほうが落としどころかなって気がしますので、我々の委員会だけじゃなくて、ほかにも2つありますんで、そこも含めてそっちの方向がいいのかなっていう気はしてます。

牧瀬昭子委員

議会改革検討会のほうでもこの話題があったので。

参考人招致をよく活用したほうがいいんじゃないかという話が議会改革検討会の中で出ていたみたいなので、それもあるんで、現場の声を直接聞く機会を持てるのも委員会の所管事務調査で

できることかなと思うので、現場を見に行くこととともに現場の方の話を聞くというのもぜひ提案したいと思います。

樋口伸一郎委員長

そのあたりは、執行部と調整していきましょう。

今挙げていただいたスポーツに関しては、まず現状確認を含めた意見交換で執行部と調整をさせていたきたいと思います。

西依義規委員

次々思い出すんですけど、若葉小学校のプールもありますよね。

あれも我々は両方所管があるんで、そういったのも含めて、今しなければいけないテーマは随時定例会なり何月でも持ってきていいと思うんですよ。

正副委員長にぜひしてくれと、重点に載せてくれと言って。

臨機応変の部分も明かしながら、大枠が2つでいいかなという気がしています。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

先ほど成富委員からも文化の分が出ましたんで、そこは適時やっていく形になると思います。

中川原豊志委員

言われるとおり2年間とかで調査・研究していく項目と、タイムリーにやっていかないかん部分っていうのがあって、今年度SAGA国スポがあるんで、スポーツ文化部に対しては国スポに向けて我々がもっと何か協力できることがないのかな。

担当課に任せて、議員さんは名前だけでいいですよとか言うんじゃないかって、もう少し携わって協力できることはないのかというのを聞きたいな。

何も言わんと担当課から我々に名前貸してみたいなことしか言いよらん感じがするんで、もう少しそこをぜひ成功してほしいという気持ちで我々ももっと協力できんかなというふうなことを言っていたらいいかな。

樋口伸一郎委員長

こうやってスポーツに関して委員会自体が単独で協議をしているっていうことも執行部は御存じなので、スポーツに関してはやる気のある委員会っていう印象で、しっかり注視していただいているっていう伝わり方はしていると思うんですが、改めてそういうのも聞く機会があったら聞いてもらっていいと思います。イメージはいいと思います。

スポーツに関する本委員会の執行部に対するイメージは、モチベーション高いなという感じじゃないでしょうか。

それと学校教育については、現状確認といっても、こちらはスポーツと違って、もうやれるこ

とは全てみたいな風潮も一般質問等の答弁からかいま見えるところがあります。

なので、やっぱり現況調査が一番分かるかなと。

執行部との意見交換じゃなくて、現況調査をまとめた上で2段階目のステップとして、こうやって自分の目で確かめてきて、現状はこうだったけどっていう確認に持っていったらいいかなと思うんですけど、こちらに対してはいかがですか。

中川原豊志委員

雨漏りは鳥栖中で、体育館から雨が降り込んでくるのは田代小？まずそこそこを現地視察が必要かなと。

ほかにドアがガタガタというのは田代中？そこぐらひは最低確認に行ったらいいんじゃないかと思いますが。

あと学校の都合とか休みがあると思いますんで、今月や来月じゃなくても、ある程度学校の状況を見ながらでいいと思います。

樋口伸一郎委員長

御意見がいろいろ出た中で考えたのが、またこの意見に対して皆さんから御発言を頂きたいんですけど。

今しっかり見えてるのは、鳥栖中であったり、田代小、田代中というのが出てきました。

ただ、牧瀬委員が途中でおっしゃってた現地の声も聞いてみながらっていうのもありましたので、相手がいてできるのをここだけで決められないかもしれんけど、例えば学校側の誰かと話することで見えてくるものもあるかもしれないので、小学校、中学校って多いですよ。これに保育園まで入れるとしたら結構あるので、今見えてるこの3つに行くのか、それともほかのところ——時間もかかりますけど、西依委員が言われてた学校をしてみるっていうところ。

現地に行って声を聞くっていうのを前に保育園で1回したんですよ。

でも、露骨に声が出てきたかって言ったらそれは謎なんです。

そこには現場で働く保育士さんと執行部もいますから。いろんな上下もあったりするでしょうしね。

だからそこで本当に聞けたかという、それは謎です。

実際に行ったっていう経緯はありますが、意見交換の場を全部やるとなるとそれなりに時間もかかるやろうから上手にやらんといかんんですけど。

その3つに行くのかっていうところですよ。

中川原豊志委員

今3つ言いましたけれども、行く前に教育総務課がどの程度その学校のことを感じているのかを聞き出してから行ってもいいのかなっていう気がします。

例えば、鳥栖中の問題、鳥栖西中の問題、麓小学校、旭小学校もこの前の飲み会の中では言っただけ、ちょっと雨が降ると水がたまってグラウンドのほうに車をとめても校舎のほうに行かれないような状態になるわけ。だから土のうか何かを積んで道路を造ったとかいう話もしよったけん、その辺の問題も確かにあるんで、教育総務課で各学校の状況をどのくらい把握してるのかを聞いてみてからでもいいのかなという気がします。

樋口伸一郎委員長

ということですが、どうですか。

西依義規委員

我々が感じる時間軸と市民の方とか子供が感じる時間軸は違うんで、まずは行くことかなと。

中学生スピーチを受けてから既にまあまあ経ってるんで、まずは本年度中に、おっしゃった3つぐらいに行って、それだけじゃいかんけん、例えば他のICTの現状とかインクルーシブの現状も聞いて、我々で聞くことだけ統一させといて、それを表にまとめて執行部に提出とかでもまずいいのかなと。

ここは教室が劣悪、ここは体育館が駄目だとかいう表を作るような形で、その他のところにこういう取組をされてますっていう調査をするのが、まず動くのが大事かなと。

教育委員会に任せとったら、多分あと2か月ぐらい待たされて、本年度は無理、3月、4月は忙しい、5月はいろいろある、6月は何たらずっと言って、結局受け入れようとせんと思うんで。

中学生スピーチを聞いたけん本年度中にちょっと見せてくれっていうのは2月でもいいし。

3月は忙しいから2月中に1回、たった1時間かそのくらいやろうけん。

そういう気はしてます。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

協議による見え方と自分の目でしっかり現場を見るのは1個でも見え方が違うし、協議による答えは答えられる側の思惑とかがよくも悪くもありますんで。

散らからないように言うと、今具体的に出てる3つですよ。

それを実際見たことある方って多分私も含め少ないですよ。

発言上のやり取りでは出てきてるんですが、今具体的に出てる3つを見て、それを見てこう感じたんだっていう意見交換を執行部とすると、ほかのところも多分我々は見に行くってイメージがつくと思うんですよ。

自分たちで足を運んで見に行くぐらいのスタンスなのでっていう意味合いでも、見て意見交換をして、新たな課題があればそこも追加していくっていう、第1ステップは現地視察のほうを感じるものが大きいかなっていうのは個人的な考え方ですけど、どうですか皆さん。

全部ってなると十何校あるんで、今までに具体的に出た3つで執行部のほうに調整をさせてもらって、学校の日程もありましようから、決まればまたそれを基に御案内するっちゃう形でもいいですか。

その日に合わせて、少し長くなるかもしれないですけど、朝からだと昼をまたぐ形にもなるかもしれないんで、現場を見て戻ってきたら意見交換までするというのを2回目にしたらどうかなと思うんですけど。

いいですか。

〔発言する者なし〕

そのようにまずは進めさせていただきます。

進み出しっていろいろ右往左往するところも出てくるかもしれないですけど、そこは皆さん方に御意見を頂きながら何とか方向性を真っすぐにしていきたいと思いますので、最初は鳥栖中、田代小、田代中の現況を確認させてもらうのと、スポーツ環境においては現状の確認を含めた執行部との様々な意見交換ということで調整をさせていただきたいと思います。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

成富牧男委員

一般質問で田村さんが言ったと思うけど、学校から教育委員会に上げる報告シートみたいなのは記入式ばかりやったけど……

田村弘子委員

不良箇所申告シートだったかな、っていうのは、学校側から手書きだったりパソコン打ちで、写真と一緒に提出された紙ベースのものがファイルにとじてあるので、現在学校側から出ている、ここが気になってますっていうのは教育委員会のほうがしっかりと把握はされてるでしょうけれども、そこではないところで、ずっと出してたけれども改善が見られないので提出するのもやめた箇所をもしかしたら学校側はお持ちかもしれないです。

成富牧男委員

分かりました。

そういうのも調査する前に参考にしたり、私たちが行くときにチェックシートみたいになっていけば、ある程度それを皆さんが共有したりそのシートでできるかなと思ったけど、そこまで細かくはなっていないだったよね。いいです。

中川原豊志委員

次回の委員会についてですけれども、先方の状況も考える場合、午前中にこだわらなくても大丈夫だと思います。場合によっては学校が早く終わる日もあったりするかもしれんし。

こっちは合わせられるんで、昼からでも大丈夫ですのでということで調整していただければと。

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

イメージとしては、学校教育に関しては現地視察をして、委員会としてどのように感じるかになるんで、意見交換としては多分スポーツ関係になると思います。現地視察とですね。

それでよろしいですか。（「1日で2つするってこと」と呼ぶ者あり）

そうです。ただ、その2つが両方とも執行部が来ないってことです。執行部は現地には行きますけど、教育に関しては現地を見るってところまでです。

それから現地を見たものを整理して、委員会としてどういうふうに持っていかってというのをしないといけないかなと思ってますけど。

西依義規委員

スケジュール的には、2月に所管事務のための委員会を1回開きますよね。

そのときのテーマは、子ども・子育ての学校メインで一本でいくのか、それにスポーツも入ってくるんですか？執行部呼んでということですね。

樋口伸一郎委員長

その日にスポーツも意見交換するって感じで伝えてました。

西依義規委員

2月に2つのテーマをするということですね、分かりました。

樋口伸一郎委員長

現地視察に行って帰ってきて、そのまま教育部とやり取りをするという流れも調整はできるんですけど、そうなると見てきてすぐになるんで、まとまらんかなと。（「委員会でまとめたほうがいいでしょうね」と呼ぶ者あり）

だからそこをまとめる……、まとまらんかなというのがあるんで、見てきたものをまとめる作業——執行部とどのような協議をしていきたいとまとめないといけないかなと思うんで、その日は学校関係の現場を見るのが1つと、もう一つがスポーツの意見交換ですね、そこは執行部来られます。これで調整をさせていただこうと。

それでよろしいですね。

[発言する者なし]

そのように決したいと思いますので、よろしく願いいたします。

今後の重点テーマについては、おかげさまでまとまりましたので。



議会報告会で意見のあった項目の絞り込みについて

樋口伸一郎委員長

もう一つ広報広聴委員会からの、市民の皆さんから頂いた御意見から3つに絞ってという……、3つ限定でしたか？2つとかじゃなくて、3つ選ばなきゃいけない？（「各委員会で合わせないかんけん」と呼ぶ者あり）

各委員会3つということで、こちらはまだ正式な手続として議長まで委員会からは行ってるのかな、行って議長からまだ諮問として降りてきたわけではないですけど、私も広報広聴委員会に出ていますので、その中でもう既に広報広聴委員会の中であったことです。

広報広聴の中では3つに絞っていただくというコンセンサスが取れています。

広報広聴から議長のほうに申出が行ってるかはまだ分かんないですけど、そこまで決まってるので事前に3つに絞っておきたいという協議でございます。

その分でまた再度集まらなくていいように御協議をお願いしたいんですけど、いっぱいありますので、まず御閲覧ください。

こちらをまとめる作業においては、今から暫時休憩に入らせていただきます。

午前11時15分休憩



午前11時21分開会

樋口伸一郎委員長

再開します。

広報広聴委員会で活用された資料を基に、議会報告会において一般市民の方から頂いた多数の意見の中から3つに絞るのは難しいですけど、広報紙に載せる事情であったり、ホームページに載せる事情から、3つに絞らなければいけないということで御協議を事前にいただきました。

確認をすると、子育てのカテゴリーから、医療費を高校まで無償ということが1つ。

放課後児童クラブ支援へのカテゴリーから、放課後児童クラブの充実ということが2つ目。

スポーツのカテゴリーからは、自由に利用できるグラウンド・体育館について。

以上3点を市民の皆さんから報告会で頂いた意見の中から絞って報告をさせていただくという

形でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

じゃあ、そのように決したいと思います。

あとはいいですか。

暫時休憩します。

午前11時23分休憩

oo

午前11時24分開会

樋口伸一郎委員長

再開します。

今広報広聴委員会で決まっているのが広報紙に3つを載せるということですので、まずはその3つを委員会で絞り込ませていただいたところを決定をさせていただきます。

今後、広報に関しての方針が決まれば、それに合わせて委員会として動いていくという流れで進めていきたいと思いますので、御理解をよろしくお願いします。

皆さんからほかに何かございませんか。

あるいは事務局のほうから何かあれば。

牧瀬昭子委員

2月の視察の予定は、大体どのぐらいの時期で……

樋口伸一郎委員長

ありがとうございます。

じゃあ、視察の候補日がある程度いいですか。

何月がいいですか。（「2月に学校に行く日程やろう」と呼ぶ者あり）

行政視察かと思った。次の視察ですね、それは今から触れるところでした。

次回の学校現場を見る日程ですね。

それと、スポーツ環境の現状確認の意見交換については、現地視察があるので、執行部と調整させていただき時間を設けさせていただければと思っております。

これは2月にせんでも、執行部としては1月がいいという可能性もありますよね。現場を見てもらうのは1月の末がいいって。

鳥栖市議会委員会条例第29条の規定によりここに押印する。

鳥栖市議会文教厚生常任委員長 樋口伸一郎

